

平成29年度 中山間農業研究所 研究課題一覧表

番号	担当部署	課題名	課題区分(主幹課) 研究年度	目的	課題実施根拠(県施策との関わりや要望の有無等)
1	本支所	夏秋トマトの革新的20t穫り多収穫栽培システムの開発	ナンバ-1プロジェクト(農政課) H26~30	○独立袋栽培を発展させた岐阜県オリジナルの夏秋トマト多収穫栽培システムの開発をする。	・多様な担い手づくり【営農定着・経営安定化の支援】 ・売れるブランドづくり【新品種・新技術の導入、主要品目の生産振興(トマト:独立ポット耕栽培や独立袋栽培など多収穫システムの導入促進)】 ・課題要望
2	本所	飛騨・美濃伝統野菜「高原山椒」の生産安定と新商品の開発	2020プロジェクト(産業技術課) H27~31	○飛騨・美濃伝統野菜「高原山椒」のより一層の高品質化と生産安定を図ると共に、高原山椒を使用した新商品を開発する。	・売れるブランドづくり【県内農畜水産物のグローバル展開、農業の6次産業化の取り組み拡大、県内「食」資源の開発促進】 ・課題要望
3	支所	熟成技術によるクリ新品種の商品展開	2020プロジェクト(産業技術課) H27~31	○クリの新品種「えな宝来」及び「えな宝月」の熟成・加工技術に関する研究を行い、その優位性を見出すとともに特長を引き出した差別化商品の開発につなげる。	・売れるブランドづくり【県内農畜水産物のグローバル展開、農業の6次産業化の取り組み拡大、県内「食」資源の開発促進、主要品目の生産振興(クリ:生産団地の造成と新品種導入促進)】 ・課題要望
4	本所	地域特産品(エゴマ等)の発酵技術による機能性食品の開発	2020プロジェクト(産業技術課) H27~31	○搾油残渣を原料とした加工品の品質・風味劣化を低減させつつ、機能性を付与する発酵技術を開発すると共に、子実収量を増やす施肥基準策定のための研究を行い、原料供給の安定化・価格低下を図る。	・売れるブランドづくり【農業の6次産業化の取り組み拡大、県内「食」資源の開発促進】 ・住みよい農村づくり【農村ビジネスの創出】
5	支所	国際社会に向け「ぎふ」をアピールできる輸出向け新花き品目の育成	2020プロジェクト(産業技術課) H27~31	○海外需要の取り込みによる販路拡大と創出、国内産地・花き産業の活性化を目指し、東京オリンピックで国内外に本県の先進性とステータスをアピールできる新しい鉢花品目を育成する。	・売れるブランドづくり【花で彩る清流の国ぎふづくりの推進、県内農畜水産物のグローバル展開、主要品目の生産振興(花き:省エネ・低コスト栽培技術の開発と鮮度保持技術の普及推進)】
6	本所	飛騨エゴマの機能性に特化した新商品開発と総合技術開発	機能性プロジェクト(産業技術課) H28~32	○エゴマ油の安定供給を図るとともに、エゴマ栽培地域拡大による遊休農地の減少や地域振興を図るほか、エゴマ油の運動能力向上効果を活かした商品開発を行う。	・多様な担い手づくり【農業分野の企業誘致】 ・売れるブランドづくり【農業の6次産業化の取り組み拡大、県内「食」資源の開発促進】 ・住みよい農村づくり【農村ビジネスの創出】 ・課題要望
7	本所	「宿儺かぼちゃ」の機能性成分探索と安定生産	機能性プロジェクト(産業技術課) H28~32	○宿儺かぼちゃの特異的に高い機能性を探索すると共に、摘心栽培技術をさらに洗練させ、収量・品質の高位平準化を図る。	・売れるブランドづくり【農業の6次産業化の取り組み拡大、県内「食」資源の開発促進】 ・課題要望
8	支所新	夏期高温に対応した水稻品種の育成と良食味栽培技術の開発	温暖化プロジェクト(農政課) H29~33	○「あさひの夢」より収量性が高く食味に優れる岐系203号を奨励品種に採用することにより、県内作付比率約5%が新品種に移行し、農家所得の向上に寄与する。	・売れるブランドづくり【水田農業の競争力強化、主要品目の生産振興(米:特徴ある米づくり)】 ・住みよい農村づくり【米づくりを中心とした農村の維持】 ・課題要望
9	支所	夏秋ナス「独立袋栽培」の高収量・省力・安定生産技術の確立	重点(農政課) H28~30	○袋培地への直接定植と早期のハウス内栽培により、天候不順期の回避、早期からの安定生産と省力化、精密な養液管理による高単収の実現と「千両二号」及び「筑陽」の安定多収穫栽培技術を確立する。	・売れるブランドづくり【新品種・新技術の導入】 ・多様な担い手づくり【営農定着・経営安定化の支援】 ・課題要望
10	本所	国際競争に打ち勝つ飛騨地域産「コシヒカリ」の良食味米の玄米成分および栽培条件の明確化	重点(農政課) H26~30	○飛騨産「コシヒカリ」の特Aランクの玄米成分を明らかにし、栽培条件を解明する。	・売れるブランドづくり【水田農業の競争力強化、主要品目の生産振興(米:食味ランク「特A」の獲得に向けた栽培技術の確立と普及)】 ・住みよい農村づくり【米づくりを中心とした農村の維持】 ・課題要望
11	本所	雨よけハウレンソウの施肥改善	重点(農政課) H27~31	○地域のハウレンソウ栽培土壌は、雨よけ、連作かつ連年防除下という複雑な土壌環境にあり、窒素収支は不明の点が多い。そこでこれらを解明し、科学的根拠に基づく合理的施肥体系の構築を図る。	・売れるブランドづくり【安全・安心な農畜水産物の生産体制の強化、主要品目の生産振興(ハウレンソウ:作業サポート体制の構築支援)】 ・課題要望
12	本所	モモ新品種「飛騨おとめ」の地域適応性と栽培技術の確立	地域密着 H25~30	○岐阜県初のモモのオリジナル品種候補「飛騨おとめ」は、「白鳳」と「昭和白桃」の中間時期に収穫でき、着色が極めて良好で糖度が高く食味良好なことから栽培技術を確立する。	・売れるブランドづくり【新品種・新技術の導入、県内「食」資源の開発促進】 ・課題要望
13	本所	夏ハウレンソウの生産量増加に向けた総合技術開発	地域密着 H27~29	○夏ハウレンソウにおけるコナダニ類の防除技術、べと病対策等の開発	・売れるブランドづくり【主要品目の生産振興(ハウレンソウ:作業サポート体制の構築支援)】 ・課題要望
14	本所新	飛騨ブランド「ひだほまれ・たかやまもち」の生育環境変化を踏まえた高品質生産体系の確立	地域密着 H29~31	○継続的な「たかやまもち」、「ひだほまれ」の安定生産に向けて、今後の気象変化にも対応する、新たな作型と施肥体系の確立を図る。	・売れるブランドづくり【水田農業の競争力強化、主要品目の生産振興(米:特徴ある米づくり)】 ・住みよい農村づくり【米づくりを中心とした農村の維持】 ・課題要望

15	本所新	「飛驒黄金」の長期安定出荷技術体系の確立	地域密着 H29～33	○新たに晩生、少脇芽の「飛系菊4号」を育成し、これまでに育成された系統を加えた飛系菊シリーズを用いて、長期連続出荷体系を構築する。加えて脇芽が少ない「飛系菊シリーズ」から効率的に採穂を行う技術を確認する。	・売れるブランドづくり【花で彩る清流の国ぎふづくりの推進、県内農畜水産物のグローバル展開、主要品目の生産振興(花き:省エネ・低コスト栽培技術の開発と鮮度保持技術の普及推進)】
16	支所新	シクラメン等中山間地鉢花のブランド化と生産安定	地域密着 H29～33	○シクラメンの黄色系新品種を育成するとともに、シクラメンの液肥底面給水栽培やエスレルを用いた省力栽培を確立する。また鉢花トルコギキョウの秋出荷と切り花利用技術を開発する。	・売れるブランドづくり【花で彩る清流の国ぎふづくりの推進、県内農畜水産物のグローバル展開、主要品目の生産振興(花き:省エネ・低コスト栽培技術の開発と鮮度保持技術の普及推進)】
17	本所新	飛驒地域に適したモモ、リンゴ等の品種選定と栽培技術の開発	地域密着 H29～33	○飛驒特産果樹の有望品種選定と安定生産・流通技術を開発する。モモでは輸出のための品種選定と出荷体系を確立する。リンゴでは高温耐性品種・系統を選抜すると共に、障害果の防止技術を開発する。ヤマブドウでは安定生産技術並びに新たな加工品を開発する。	・売れるブランドづくり【県内農畜水産物のグローバル展開、農業の6次産業化の取り組み拡大、新品種・新技術の導入】 ・課題要望
18	支所新	クリ新品種育成及び有望品種選定と「えな宝来」、「えな宝月」、「ぼろたん」の安定生産技術開発	地域密着(一部外部資金) H29～33	○クリのリレー出荷を可能とする新品種育成を交雑育種法により行う。また新品種「えな宝来」、「えな宝月」の栽培技術を策定し現地へ普及させ、「ぼろたん」の黒変果対応技術を確認する。さらに【国研】果樹研で育成された新系統の本県における特性を明らかにする。	・売れるブランドづくり【県内農畜水産物のグローバル展開、農業の6次産業化の取り組み拡大、新品種・新技術の導入、主要品目の生産振興(クリ:生産団地の造成と新品種導入促進)】 ・課題要望
19	本支所新	岐阜県産米を利用した新しいブランド品目の開発	地域密着 H29～33	○酒造好適米では大吟醸用品種や美濃地域向けの酒米品種を育成する。奨励品種である「ひだほまれ」「たかやまもち」は、品種特性のため登熟期間中の植物体上で穂発芽する事例が発生している。これを改良するために両品種に強い穂発芽耐性を導入した同質遺伝子系統を育成する。	・売れるブランドづくり【水田農業の競争力強化、主要品目の生産振興(米:特徴ある米づくり)】 ・住みよい農村づくり【米づくりを中心とした農村の維持】 ・課題要望
20	本所新	【日植防】ハウレンソウケナガコナダニに対するカーバムナトリウム塩液剤の防除効果	外部資金 H29	○ハウレンソウの難防除害虫「ハウレンソウケナガコナダニ」に対するカーバムナトリウム塩液剤(商品名キルパー)の防除効果を明らかにする。	・売れるブランドづくり【主要品目の生産振興(ハウレンソウ:難防除病害虫に対する総合的な防除体系構築支援)】 ・課題要望
21	本所	ハウレンソウの機械移植体系の確立	外部資金 H26～29	○ハウレンソウの作付け回数の増加による収量増のための移植栽培における自動移植機の開発を行う。	・売れるブランドづくり【主要品目の生産振興(ハウレンソウ:作業サポート体制の構築支援)】 ・課題要望
22	本所	軟弱野菜の高能率調整機の開発	外部資金 H27～29	○ハウレンソウ等の軟弱野菜を1株ずつ供給するだけで根切りと下葉取りが行え、手直しによる調製時間が削減できる高能率の調整機を開発する。	・売れるブランドづくり【主要品目の生産振興(ハウレンソウ:調整作業の共同化のモデル構築と普及推進、作業サポート体制の構築支援)】